



環境衛生情報



町民課環境衛生係 (32)3111 (内線47・74)

ごみの焼却は、禁止されています。 注意しましょう！

平成14年12月1日から、家庭から出たごみ、会社から出たごみなどは種類に関わらず、廃棄物処理および清掃に関する法律により、一部の例外を除き野外焼却することが禁止されています。ブロック囲い、ドラム缶などのごみの焼却は、近隣の方への迷惑行為になるので行わないようにしましょう。

焼却禁止の 例外として…

①法規制適合型の焼却炉 での焼却

- 800℃以上で焼却できるもの
- 外気と遮断された状態で定量ずつごみを投入できるもの
- 炉内の温度を測定でき、温度を保つための助燃装置が設けられているもの
- ※焼却炉の性能が発揮されるよう適切な運転・管理がされなければなりません。

②法令に基づいて行なう焼却

- 病虫害のついた木の枝の焼却
- 伝染病にかかった家畜の死体の焼却

③公共的もしくは社会の習慣上やむを得ない焼却

- 災害の予防、応急対策または、復旧のために必要な焼却
- ・凍霜害を防ぐためのわらの焼却
- 風俗習慣上または、宗教上の行事を行うために必要な焼却
- ・どんど焼き・焼いも大会などの行事による焼却
- 農業、林業または、漁業を営むためにやむを得ないものと

上記①以外の野焼きの場合は消防署へ届出をお願いします。(火災と間違えるような煙または、火災を発生する恐れのある場合は、その旨を所轄消防署長に届けることになっていきます。)

※焼却禁止の例外と思われる場合でも、住宅が密集している地域においては、近隣者に配慮し、町指定ごみ袋で集積所に出すようにしてください。

① 歯磨き粉の容器



誤 プラスチック容器包装

正 可燃ごみ

中身の汚れを落とすことができれば、容器包装として出すことができます。上記の容器のほか、マヨネーズ等の容器も洗剤等を入れ洗浄しないと汚れを落とすことができないものは可燃ごみとして出してください。(目安)少量の水で汚れを落とせるか否か。

② 長靴



誤 不燃ごみ

正 可燃ごみ

不燃ごみとして収集をしていましたが、可燃ごみで出してください。

問い合わせ先

町民課環境衛生係(内線47)

青年海外協力隊参加を終えて

最初に：

無事、3月末にパプアニューギニア(以後、PNG)より帰ってきました。本当にたくさん経験させていただき、心も体も一回り大きくなれたと自負しております。

PNGから日本を見ることができ、日本の良さと凄さを感じることができた2年間でもありました。今、日本は3月におきた東日本大震災により復興が始まったところです。一人一人の力は微力だと思えますが、日々できることを少し行っただけで、日本はさらにすばらしい部分が増えると思えます。みんなで自分ができることから始めましょう。そして、被災者の皆さまの笑顔が一日も早く戻ることを願います。

PNGについて：

PNGは、赤道のすぐ南に位置しており、日本から直行便で約6時間30分の距離にあります。世界で2番目に大きな島、ニューギニア島の東半分をはじめとする600の島々からなり、南太平洋最後の楽園と言われています。

また、800以上の部族があると言われる多部族国家です。

地域によって多少異なりますが主に主食は、芋やバナナ(甘くなく芋に近い)です。それを、ココナツミ

ルクと葉野菜で煮込んで食べます。日により、魚や缶詰の肉が入ります

が、ほぼ毎日同じような物を食べています。また、9割の人がキリスト教を信仰しており、毎週末には家族で教会に行きます。

豚は、非常に高価な物とされており、結婚式や葬式の際に主に食べられます。

物価については、日本とあまり変わりません。ただ、首都以外の地域には、自然が溢れているため、食べる物などは困らないです。金や銅や天然ガスなどの天然資源も豊富で、国としては、お金があります。ただ、なかなか末端まで行き渡らないのが現状です。

活動について：

私の活動ですが、主に任地にあるココナツを利用して油を作り、それを使って石鹸を作り販売するサポートを行っておりました。任地の学校(日本の高校レベル)では、生徒に教えて生産し、地元のスーパーやホテルと契約して、販売することができました。この活動に対して、州政府からも大変評価していただき、私としても一番形に残った活動と言えます。

活動はもちろんのこと、日々の生活を含め、全てが最高に良い思い出であり、今後の人生の糧となる経験であったと断言できます。また、現地人、日本人問わず、気の合う友人



たちと出会えたことは何ごとにも代え難い財産です。右も左もわからぬ土地で生活、活動をスタートし、最終的に自分として納得のいく活動成果を残せたことは、決して私だけの力ではなく、多くの人のサポートがあったからこそです。この2年間、お世話になった全ての人たちに感謝したい気持ちで一杯です。

最後に：

PNGという国に対して、「何か残してやろう!」という意気込みで始まった活動と生活でしたが、この2年を振り返りますと与えることよりも与えてもらったことの方が多かったと思います。自分を成長させてくれたPNG。このPNGという国の発展を心から願うとともに今後も何かできることから願うとともに今後も何かできることからかわり続けていきたい。

我がPNG LIFEに一片の悔い無し。
Thanku olegeta manmeri bilong Papua New Guinea. (ありがとう、PNGの人々。)

なが さか あつ し
長坂 篤志 さん (上田市在住・昭和61年生まれ)

シズン時計ミヨタ株式会社勤務。以前は、社員寮のある西軽井沢に居住。
2009年3月～2011年3月までの2年間、パプアニューギニアで活動。



パプアニューギニア独立国の概要

- 面積 46.2km²(日本の約1.25倍)
- 人口 673.2万人
- 首都 ポートモレスビー
- 主要言語 英語など
- 主要産業 鉱業(金・原油・銅)、農業(パーム油・コーヒー)、林業



パプアニューギニア独立国は、南太平洋にあるニューギニア島の東半分及び周辺の島々からなる国家です。住民は多様な民族からなっており、主にメラネシア人、パプア人、ネグリト人、ミクロネシア人、ポリシア人などで構成されています。